

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態
周産期ケア特論	1・2	後期	2	講義 30時間
担当教員	田嶋敦、林正路、門岡みずほ、末光徳匡、清水清美、三谷尚弘、松浦拓人			
授業概要	ハイリスク妊娠・分娩・産褥及び新生児ケアの基本的知識とエビデンスに基づくケアを学び、ハイリスクを対象とした実践的助産活動を主体的に行える能力および緊急時に対応できる基礎的能力を培う。また、ハイリスク予備軍に対する健康向上のための科学的根拠に基づいた助産ケアについて、基礎知識・技術・理論を学ぶ。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 周産期のハイリスク女性に関する病態及び救急的対処に関するケア能力を身につける。 2. 新生児の異常について、病態及び救急的対処に関するケア能力を身につける。 3. 不妊患者のケアについて理解を深める。 			
履修条件	特になし			
授業計画	回	内容	担当教員	
	1	周産期の救急医療体制	門岡	
	2	母体搬送時の対処	三谷	
	3	産科異常出血	松浦	
	4	超音波診断	末光	
	5	周産期メンタルヘルス	門岡	
	6	MFICU 患者のケア：ハイリスク・異常妊娠	田嶋	
	7	MFICU 患者のケア：母体合併症管理治療	田嶋	
	8	MFICU 患者のケア：胎児異常管理治療	田嶋	
	9	新生児異常のケア		
	10	未熟児医療の現状と課題		
	11	未熟児医療の展望		
	12	不妊と不妊治療	林	
	13	高度生殖医療について	林	
	14	不妊症をめぐる現状	清水	
	15	不妊患者の助産ケア	清水	
教科書	特に指定しない			
参考書	毎回の授業で、テーマに沿って提示する。			
評価方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に対する準備状況や授業中の発言内容等による評価(30%) ・レポート課題に対する成績(70%) 			
事前・事後学習	必要時、事前に提示する文献・資料を読んで授業に参加する。産科救急に関する技術の習得については、授業後の時間を使って熟達レベルに達するように自己学習を行い、求められる基準に達するよう反復練習を行う。			
備考	特になし			